名張市議会要覧

令和８年度版

名張市議会事務局



市　章

名張の「名」を図案化したもので、上部は田園、下部は滝の流れを示し豊かな田園観光を象徴して全体としての安定感は土地的特色と円滑さを示し将来の躍進を物語っています。

名張市民憲章

わたしたち名張市民は、万葉の伝統をいかしつつ時運に即応し勇気と確信をもって、新しい名張市を創るためこの憲章を定めます。

一．清潔で平和なまちをつくりましょう。

一．高く豊かな文化をきずきましょう。

一．明るくあたたかく人をむかえましょう。

一．健康な近代産業をそだてましょう。

一．力をあわせ公正な市政をのばしましょう。

（昭和 39 年 4 月 26 日制定）

市の木

もみじ

赤目四十八滝、香落渓などに多生し、観光地を青葉と紅葉で鮮やかに彩ります。

市の鳥

うぐいす

早春から初夏にかけて、市内のあちこちで美しい声で鳴き、親しまれています。

市の花

ききょう

名張藤堂家の家紋が桔梗であることから縁が深く、秋の山野で清楚な姿を見せてくれます。

沿　革

古くより名張は大和の国に隣接し、東西往来の要所として開けました。遠く万葉の昔、当麻真人麻呂の若い妻は、持統天皇に伴って伊勢に旅立った夫の安否を気遣い「わがせこは何処くゆくらんおきつものなばりの山を今日か越ゆらん」（万葉集）の秀歌を記しています。

江戸の初め（1636 年）、津の藩主藤堂高虎の養子高吉が名張に移封されてから、現在のまちは、伊勢参りの宿場町としてかたちづくられ、さらに、藤堂氏の城下町として一層発展しました。

明治８年に現在の市街地にあった梁瀬村、平尾村、北出村、南出村が合併して梁瀬村となり、同 13 年に名張村と改称、同 22 年に町制を施行して名張町が誕生しました。この頃から商業のまちとしての性格を強め、伊賀・大和の境界における地域経済の中心地としての役割を果たしてきました。

大正 11 年に伊賀鉄道、さらに昭和５年には参宮鉄道（現在の近畿日本鉄道）が開通するに至り、産業・観光面で飛躍的な発展を遂げました。町はその後、周辺各町村と合併を重ね、昭和 29 年 3 月 31 日、ついに市制を施行することとなり、名張市が誕生しました。

市制発足当時の世帯数は 6,161 世帯、人口は 31,012 人で、以後わずかな増減を繰り返していましたが、昭和 38 年から始まった桔梗が丘の開発を皮切りに住宅開発が進むにつれ人口が増え始め、50 年代に入るとさらにその勢いを増し、昭和 56 年には、人口増加率(7.8%)全国一を記録しました。

その後も人口は増え続け、平成 12 年には 85,000 人を超えました。

現在の人口は、減少傾向にあるものの、愛着を抱き、いつまでも住み続けたい、住み続けることのできるまちを目指し、さまざまな施策を展開しています。

名張市の位置・地勢

三重県の西部、伊賀盆地の西南部に位置し、東西 10.6km、南北 13.1km 面積 129.77 ㎢で、県土の 2.2%を占め、北東部は伊賀市、津市に、他の二方は奈良県に接しています。

また、大阪へは約 60km、名古屋へは約 100km、鉄道を利用してそれぞれ約 60 分、約 90 分で結ばれており、近畿中部両圏域に含まれ、両圏の接点に位置しています。

全体として平坦地が少なく起伏と緑に富んだ自然美豊かな環境条件をつくり出しています。特に、南部地域を中心として山地の多い地勢は、市域の 40%弱に当たる 47.40 ㎢が室生・赤目・青山国定公園及び赤目一志峡県立自然公園に指定されており、赤目四十八滝、香落渓、青蓮寺湖等に代表される風光明媚な景勝地として知られています。

位　置	北緯	３４°３７′
	東経	１３６°０６′
海　　抜		２２５．９３　［ｍ］
面　　積		１２９．７７　［k㎡］
広ぼう	東西	１０，５５０　［ｍ］
	南北	１３，１００　［ｍ］

◆市の現況

人口・世帯数の推移

（各年国調）

平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	令和 7 年
82,156 人	80,284 人	78,795 人	76,387 人	72,036 人
28,334 世帯	29,481 世帯	30,595 世帯	31,466 世帯	31,216 世帯

＜参考＞　住民基本台帳人口（外国人を含む）

令和8年4月1日現在　72,707人　34,922世帯

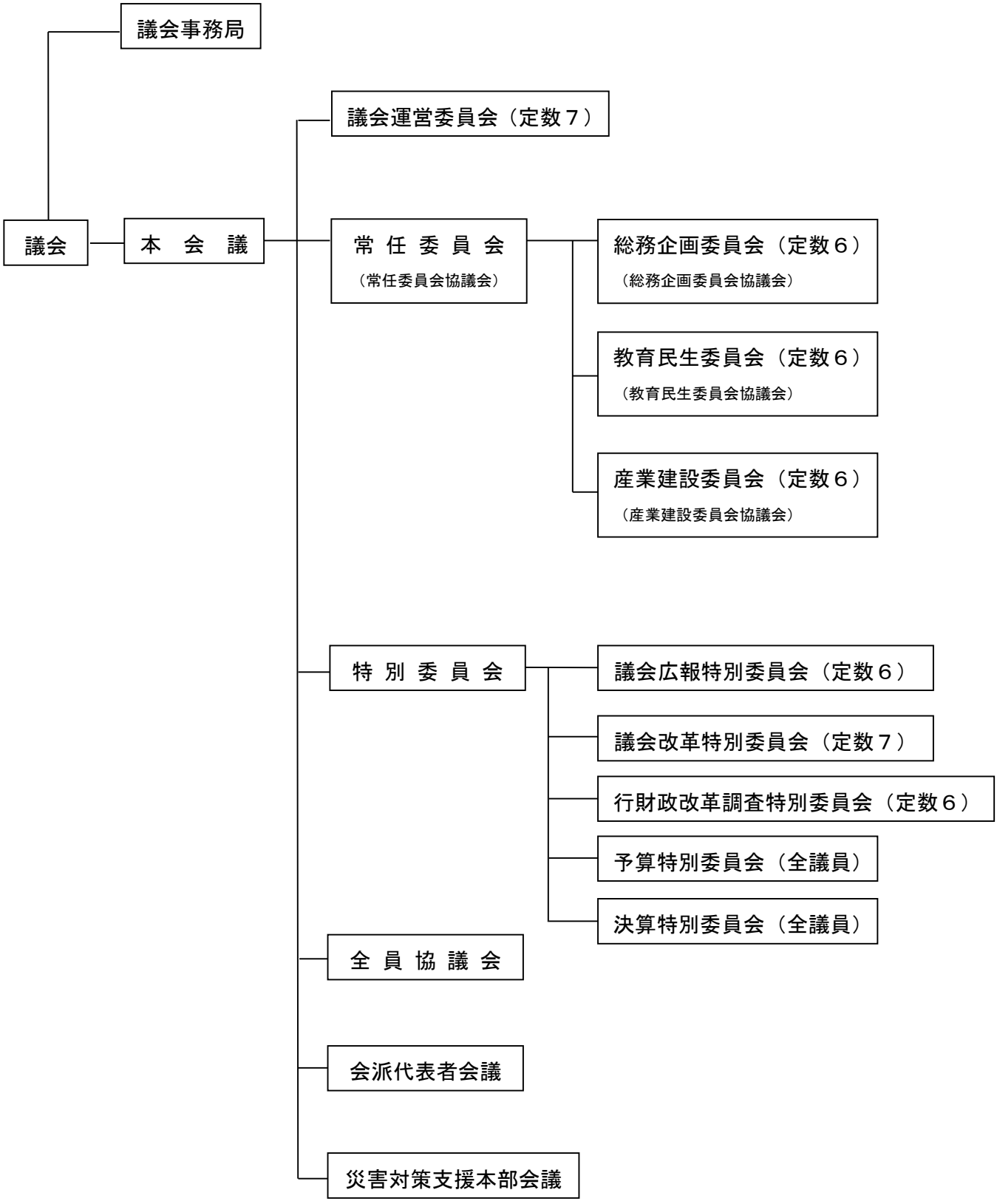
産業別就業人口

（令和 2 年国調）

	総　数　（人）	構成比　（%）
第１次産業	850	2.2
第２次産業	12,833	33.7
第３次産業	24,453	64.1
合　　計	38,136	100.0

◆市議会の組織・構成

議会の組織



議員一覧表

【　議　長　】　永岡　禎　（令和８年４月３０日就任）

【　副議長　】　坂本　直司　（令和８年４月３０日就任）

氏名	党派	住所／連絡先
亀　山　直　哉	無　所　属	桔梗が丘５番町 ０９０－５５８１－１５１５
萱　原　信　英	公　明　党	梅が丘南４番町 ５１－５４７３
室　井　幸　司	公　明　党	すずらん台東２番町 ０９０－４２５５　－６８０３
堀　内　　篤	参　政　党	桔梗が丘５番町 ６５－０８２４
小　林　　勝	自由民主党	新町 ６３－０３６２
坂　本　直　司	無　所　属	桔梗が丘８番町 ６５－５７２５
木　平　秀　喜	日本維新の会	桔梗が丘２番町 ４８－５５５０
足　立　淑　絵	無　所　属	つつじが丘北５番町 ６８－３１１８
山　下　　登	無　所　属	緑が丘東 ６４－１７５０
柏　　元　三	無　所　属	桔梗が丘８番町 ６５－４１４１
森　脇　和　徳	無　所　属	希央台４番町 ５１－５３０４
富　田　真　由　美	公　明　党	つつじが丘北７番町 ６８－５６７６
常　俊　朋　子	自由民主党	つつじが丘北１０番町 ６８－１３５８
幸　松　孝　太　郎	自由民主党	百合が丘西２番町 ６３－６７７４
細　矢　一　宏	公　明　党	百合が丘東５番町 ６４－１８１３
三　原　淳　子	日本共産党	すずらん台西４番町 ６８－３５５２
永　岡　　禎	無　所　属	鴻之台３番町 ６３－５８３３
福　田　博　行	自由民主党	夏見 ６３－７８５８

議員定数

（令和 8 年 4 月 17 日現在）

区分	条例定数	現員数	当選回数							年齢構成				
			1回	2回	3回	4回	5回	6回	8回	40代	50代	60代	70代	80代
人数	18	18	4	1	2	3	4	2	2	1	4	8	4	1

〇最年長 82 歳・最年少 41 歳　平均 62.8 歳

議員の任期

令和 8 年 4 月 17 日～令和 12 年 4 月 16 日

会派の構成

会派名	人員	氏名
清風クラブ	5	〇福田博行　小林勝　坂本直司　常俊朋子　幸松孝太郎
公明党	4	〇細矢一宏　萱原信英　室井幸司　富田真由美
自由クラブ	3	〇柏元三　木平秀喜　山下登
新希	2	〇森脇和徳　亀山直哉
起動	2	〇足立淑絵　堀内篤
会派に属さない議員	2	三原淳子　永岡禎

〔〇会派代表〕

常任委員会の構成

委員会名	委員名	所管事項
総務企画 ６人	◎森脇　和徳 ○小林　　勝 堀内　　篤 柏　　元三 富田真由美 永岡　　禎	なばりの未来創造部、総務部、市民部（保険年金室を除く）、出納室、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、消防本部、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
教育民生 ６人	◎常俊　朋子 ○細矢　一宏 亀山　直哉 室井　幸司 木平　秀喜 幸松孝太郎	教育委員会、市民部（保険年金室）、地域環境部、福祉子ども部の所管に属する事項
産業建設 ６人	◎足立　淑絵 ○山下　　登 萱原　信英 坂本　直司 三原　淳子 福田　博行	産業部、都市整備部、上下水道部、農業委員会の所管に属する事項

〔◎委員長　○副委員長〕

議会運営委員会

氏名		
◎福田　博行（清風クラブ）	○細矢　一宏（公　明　党）	木平　秀喜（自由クラブ）
足立　淑絵（起　　動）	森脇　和徳（新　　希）	富田真由美（公　明　党）
常俊　朋子（清風クラブ）		

〔◎委員長　○副委員長〕

定　　数　／　７人
選出方法　／　各会派から選出し、構成員が 2～3 名までは 1 名、4 名以上は 2 名
任　　期　／　１年

一部事務組合議会等議員名簿

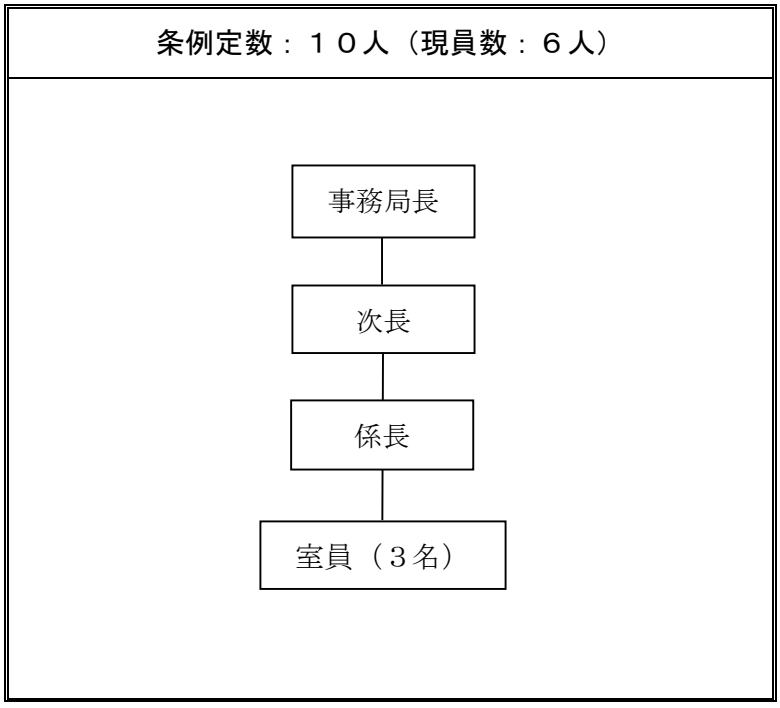
伊賀南部環境衛生組合議会（６人）	三重県後期高齢者医療広域連合議会（１人）
室井　幸司	永岡　　禎
木平　秀喜	
常俊　朋子	
幸松孝太郎	
細矢　一宏	
永岡　　禎	

（　人）は名張市選出議員数

各種委員等

職　名	議員名
名張市都市計画審議会委員	室井　幸司　　小林　勝　　山下　登

事務局機構図



議員旅費等

区　　分	金　　額（円）
日　　当	100㎞以上　　2,600/日
宿　泊　費	15,100/泊を上限とする（朝食費・夕食費含む）
食　事　料 船・飛行機の場合（一夜のみ）	2,600/泊
委員会視察旅費	1,620,000/年
政務活動費交付金	480,000/年
その他視察費	―
費　用　弁　償	―

議員報酬等（一時的な報酬等の削減は含まない）

区　　分	金 額（円）	改定年月日
議　　長	583,000	平成10年1月1日
副議長	502,000	平成10年1月1日
議　　員	460,000	平成10年1月1日
委員長	―	―
副委員長	―	―
監査委員［議会選出］	16,500（日額）	平成23年4月1日

議員期末手当割合

６月	175／100×1.2
１２月	185／100×1.2
合　　計	360／100×1.2

議会開催状況【令和７年度】

議会

区　　分		議会期間	本会議日数
招集議会	4月招集議会（4月16日）	1	1
定例議会	6月定例議会（6月10日～6月27日）	18	6
定例議会	9月定例議会（9月4日～10月1日）	28	8
定例議会	12月定例議会(12月4日～12月23日)	20	6
臨時議会	1月臨時議会（1月15日～1月20日）	6	2
定例議会	3月定例議会（2月26日～3月31日）	34	7
合　　計		107	30

委員会

委　員　会　名	会議日数
議会運営委員会	20
常任委員会	21
総務企画委員会	8
教育民生委員会	7
産業建設委員会	6
特別委員会	39
議会広報特別委員会	18
議会改革特別委員会	7
予算特別委員会	1
決算特別委員会	2
行財政改革調査特別委員会	10

協議会等

会　議　名	会議日数
全員協議会	10
会派代表者会議	2
常任委員会協議会	12
総務企画委員会協議会	4
教育民生委員会協議会	4
産業建設委員会協議会	4

議決状況

区分＼年度	付議事件									結果			
	条例市長提出	条例・規則議員提出	予算	決算認定	事件議決	報告承認	人事案件	意見書・決議	計	可決	修正可決	否決	計
7	36	3	42	11	11	2	6	5	116	116	0	0	116

請願等の処理状況

年　度	区　分	受理件数	採　択	不採択	取下げ	備考
7	請　願	4	4	0	0	
	陳情・要望	18				

意見書・決議の議決状況（可決分）【令和７年度】

件　　名	提出会議名	議決年月日
地方財政の充実・強化を求める意見書	9月定例議会	令和7年9月30日
義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	9月定例議会	令和7年9月30日
教職員の欠員等の速やかな解消及び教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書	9月定例議会	令和7年9月30日
子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	9月定例議会	令和7年9月30日
防災対策の充実を求める意見書	9月定例議会	令和7年9月30日

◆職員関係

職員数

（令和８年４月現在）

区　　分	定　　数	実人員
市長の事務部局の職員	441	369
議会事務局の職員	10	6
教育委員会事務局の職員	137	57
選挙管理委員会事務局の職員	―	兼務６
公平委員会事務局の職員	―	兼務２
監査委員事務局の職員	3	2
農業委員会事務局の職員	4	２兼務２
公営企業関係の職員	65	36
消防本部の職員	122	124
伊賀南部環境衛生組合の職員	76	15
合　　計	858	611 兼務 10

職員給料

（令和８年１月１日現在）

	平均給料額	平均年齢
一般行政職	320,669 円	43 歳９ヶ月
技能労務職	316,961 円	47 歳 10 ヶ月

◆財政状況

令和８年度一般会計当初予算【歳入】

款	別 / 区 分	予 算 額 千円	比 率 %
１	市税	9,140,900	29.9
２	地方譲与税	275,210	0.9
３	利子割交付金	15,000	0.0
４	配当割交付金	100,000	0.3
５	株式等譲渡所得割交付金	70,000	0.2
６	法人事業税交付金	190,000	0.6
７	地方消費税交付金	1,926,500	6.3
８	ゴルフ場利用税交付金	45,000	0.1
９	地方特例交付金	154,900	0.5
１０	地方交付税	6,585,000	21.5
１１	交通安全対策特別交付金	5,500	0.0
１２	分担金及び負担金	73,355	0.2
１３	使用料及び手数料	205,625	0.7
１４	国庫支出金	5,371,104	17.6
１５	県支出金	2,803,752	9.2
１６	財産収入	138,044	0.5
１７	寄附金	813,353	2.7
１８	繰入金	1,161,286	3.8
１９	繰越金	300,000	1.0
２０	諸収入	533,371	1.7
２１	市債	685,100	2.2
歳	入 合 計	30,593,000	100.0

（注）端数処理により、款別比率の合計は一致しない場合があります。

市税の内訳

区　分		予　算　額　千円	比　率　%
市民税	個　人	3,771,700	41.3
	法　人	632,100	6.9
固定資産税		4,015,000	43.9
軽自動車税		276,900	3.0
市たばこ税		445,200	4.9
合　計		9,140,900	100.0

歳出

区　分	予　算　額　千円	比　率　%
議会費	228,710	0.7
総務費	4,177,388	13.7
民生費	13,652,946	44.6
衛生費	3,692,424	12.1
農林水産業費	285,828	0.9
商工費	687,895	2.2
土木費	1,641,016	5.4
消防費	1,248,887	4.1
教育費	1,979,018	6.5
災害復旧費	14,133	0.0
公債費	2,934,755	9.6
予備費	50,000	0.2
歳出合計	30,593,000	100.0

（注）端数処理により、比率の合計は一致しない場合があります。

歳出【性質別】

区分		予算額 千円	比率 %
消費的経費	人件費	5,935,691	19.4
	物件費	3,202,317	10.5
	維持補修費	247,847	0.8
	扶助費	9,094,891	29.7
	補助費等	4,176,003	13.7
	その他	55,131	0.2
	小計	(22,711,880)	(74.2)
公債費		2,934,755	9.6
積立金		1,014,453	3.3
出資金・貸付金		55,780	0.2
繰出金		3,015,685	9.9
予備費		50,000	0.2
計		(29,782,553)	(97.4)
投資的経費	普通建設事業費	808,667	2.6
	災害復旧事業費	1,780	0.0
	計	(810,447)	(2.6)
歳出合計		30,593,000	100.0

（注）端数処理により、比率の合計は一致しない場合があります。

○財政指標・健全化判断比率[令和７年度決算]

財政力指数	0.619
経常収支比率	98.6%
実質公債費比率	13.7%
将来負担比率	125.7%

令和８年度特別会計予算【当初】

区　　分	予　算　額　千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,600
東山墓園造成事業特別会計	57,300
国民健康保険特別会計	8,110,800
介護保険特別会計	8,212,200
後期高齢者医療特別会計	2,579,900
国津財産区特別会計	142
地方独立行政法人名張市立病院資金貸付事業等特別会計	997,200

令和８年度企業会計予算【当初】

会　計　名	収　　入　千円	支　　出　千円
水道事業		
[収益的]	1,744,616	1,997,956
[資本的]	1,752,123	2,722,652
下水道事業		
[収益的]	2,858,711	3,175,701
[資本的]	2,371,476	2,908,431

議会要覧　令和 8 年度版（2026 年）

発行年月　　令和 8 年 10 月
編集発行　　名張市議会事務局